

Nihongo Network News

1996.8.1

発行

No.

11

東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティア・センター気付 ☎03-3235-1171

東京都社会福祉協議会主催の 「ボランティアグループ リーダー研修会」に参加

TNVNでは、6月22日(土)に東京いきいきらいふ推進センターで開催された「ボランティアグループリーダー研修会」に参加し、2つの分科会で事例報告をしました。このボランティアグループリーダー研修会は東京都社会福祉協議会ボランティア団体連絡協議会の主催で、さまざまな分野のボランティアグループで活躍している人々を対象に毎年1回開催されているものです。今回は「今後のボランティアグループ運営を考える」をテーマに、グループのリーダーや組織のあり方を問い直そうという趣旨。午前・午後を通じて4つの分科会で討論し、最後に全体会でその結果が報告され、活発な質疑応答が行なわれました。

分科会1での事例報告

TNVN事務局長 林川玲子

「行政との関わりとパートナーシップのあり方」をテーマとする分科会1は、司会の宮川さん(三鷹市ボランティア連絡会)、記録は山口さん(社会福祉活動研究所)を含め16人でした。TNVNの事例報告をもとに、次のようなことを話し合いました。

「従来、行政は^{かみ}お上であり、学識経験者を頼み住民を啓蒙しようとした。しかし、これからのボランティアは実績を積むことにより自信を持ち、知恵と経験と労力をだし、行政はその公共性・信頼性を生かし、機会・場所・機材・資金を分担し、パートナーとして協力し合っていくことが望ましい。また、縦割り行政と言われるように行政間の意志疎通の悪いことがあるが、ボランティアは糊になり情報の欠ける部分を補うことができる。互いに良いパートナーとなるためには、行政側は対応の柔軟さ、そしてボランティアの先駆性・経験・知恵が必要である」

行政関係者の参加がなかったことは残念でしたが、個々の体験なども交え、かなり具体的に深い討論ができたと思います。一人一人が十分に発言でき、充実感を得られたようでした。

分科会2での事例報告

TNVN代表 中田紀子

今回は納得できる意見交換が十分できるようにと、午前午後とも同一テーマの分科会となりました。「活動を維持・活性化さ



せるための組織運営」をテーマとする分科会2では、参加者の自己紹介とともに話し合いたいことを発表してもらい、さらにテーマを絞り込みました。この話をもとに、必要に応じてレクチャーをおりこみながらTNVNの組織・運営・現状などを報告しました。

午後は分科会をさらにテーマ別に3つのグループに分けてディスカッション。私は「マンネリ化からの脱出法」を担当しました。マンネリ化の原因としては、人材・広報・支援者の高齢化・横の連絡の欠落・役員等の世代交代の難しさ・若者の定着率の低さなどがあげられ、その対処や解決について話し合いました。少人数で時間をかけて話し合いができたためよい結果が得られ、さらに「真のボランティアとは」についても話し合うことができました。常に幅広い団体等と情報交換をしながら視野を広く持つことが、グループの発展・活性化の不可欠な条件という結論でした。

国際交流担い手
ネットワーク
全国会議

第9回『箱根会議』が 開催されました。



7月5日(金)～7月7日(日)まで、静岡県御殿場市の国立中央青年の家において第9回箱根会議が開催されました。全国から国際交流関連団体やボランティアが参加して、今回は「『民』のイニシアティブ自立・共生・協働社会をめざして」をテーマに開催。行政の立場から「市民が主役であること」を再確認し、市民の側も行政との対話を深め、互いに協力しあい、よりよい社会作りに貢献していくために、何ができるのかを、参加者全員で考えようという試みでした。参加者数はのべ150人ほどで、「今回は若い人の参加が多いね」という声が会場のあちらこちらで聞かれ、ボランティアの世代交代をうかがわせました。

第1日目

5日(金)、関東地方は暴風雨に見舞われ、電車が止まるなどのハプニングが発生し、全スケジュール1時間遅れでの開始となりました。こんな悪天候にも関わらず、北海道から鹿児島までの幅広い地域の団体が駆け付けていました。参加者の手には何十枚もの名刺が握りしめられ、自己ピーアールは夜遅くまで続きました。

23:00からスタートの懇親会も、次々に到着してくる参加者を巻き込み、カラオケも飛びだしてたいへんな盛りあがり、明け方まで賑わいました。

第2日目

6日(土)、この日は午前の報告とパネル

ディスカッションにひき続き、午後は8つの分科会が開催され、夕方からの全体会で各々の分科会の報告が行なわれました。「時間が足りなかった」という声が多く、活発な意見が飛び交っていたことがうかがえました。19:00からの立食パーティに続き、21:00からは自由懇親会にも多くの人が参加し、他団体からの参加者と情報交換をしたり、親くなった参加者同士がビールを片手に思い思いにボランティアを語り合ったり、和やかな雰囲気のまま朝を迎えた人も多かったようです。

第3日目

7日(日)、この日は9つの分野別ワークショップで、グループ討議が行なわれました。各グループではそれぞれのテーマにあった10か条を検討し、午後の全体会で発表。全体会の会場には各ワークショップで出し合った10か条が貼りだされ、幅広い意見や提案がみられました。

それぞれの団体が多くの問題を抱えているなか、情報交換の場としての箱根会議のもつ役割には大きいものがあるでしょう。今後も団体同士の横のネットワークを築ける場として発展していくことを期待します。

TNVN '96

日本語ボランティア 基礎講習会が終了!



'96年5月9日(木)からスタートしたTNVN '96日本語ボランティア基礎講習会は、好評のうちに6月27日(木)に終了しました。TNVNとしては第4回目の開催となる今回は、日本語ボランティアの経験が比較的浅い方々を対象にした全10回(入門講習会2回を含む)で、飯田橋の東京ボランティアセンター学習室を会場に開講。

今回は多くの受講者がこれから日本語ボランティアを始めたいという方々だっただけに、積極的な姿勢に日本語ボランティ

アへの意欲がうかがえました。そのため、8割以上の講座に出席した受講者に対して発行している修了証も、ほとんどの受講者にさしあげることができました。今後、それぞれの地域で日本語ボランティアとして活躍されることが期待されます。

なお、TNVNでは秋に日本語ボランティア育成講習会を開講の予定です。詳細が決定次第チラシ等でご案内しますので、関心のある方はぜひご参加ください。

市民フェスティバル

東京Ours'96^{アワーズ}が開催されます

TNVNでは、東京都庁の都民広場を会場にして開催される市民フェスティバル「東京Ours'96」のイベントに参加。TNVN会員団体の日本語学習者の方々に参加していただいて、楽しいイベントを実施します。

この日はTNVNのほかにも国際交流に関わる団体のさまざまなイベントも予定されていますので、外国人のお友だちといっしょにぜひ遊びにいらしてください。

◆日時／9月8日(日)

午前11時20分～午後8時

◆会場／東京都庁前「都民広場」

常設ステージ(西新宿)

◆プログラム

☆午前11時20分～12時

ハローブリッジと日暮里の子どもたち
(手話コーラス)

☆午後12時30分～1時30分

コール・コアラ
(車いすダンス&ハワイアンバンド)

☆午後2時～3時30分

第1部「国際交流井戸端会議」

<TNVN主催>

在住外国人による日本語のスピーチと
ディスカッション。

☆午後3時30分～5時30分

第2部「国際交流学芸会」

<TNVN主催>

世界各地の歌や楽器演奏・舞踊・コーラスなどを披露。

☆午後5～6時20分

ビバトランスプランテーション
(臓器移植者と支援者の組織)
(サンバカーニバル)

☆午後7時～8時

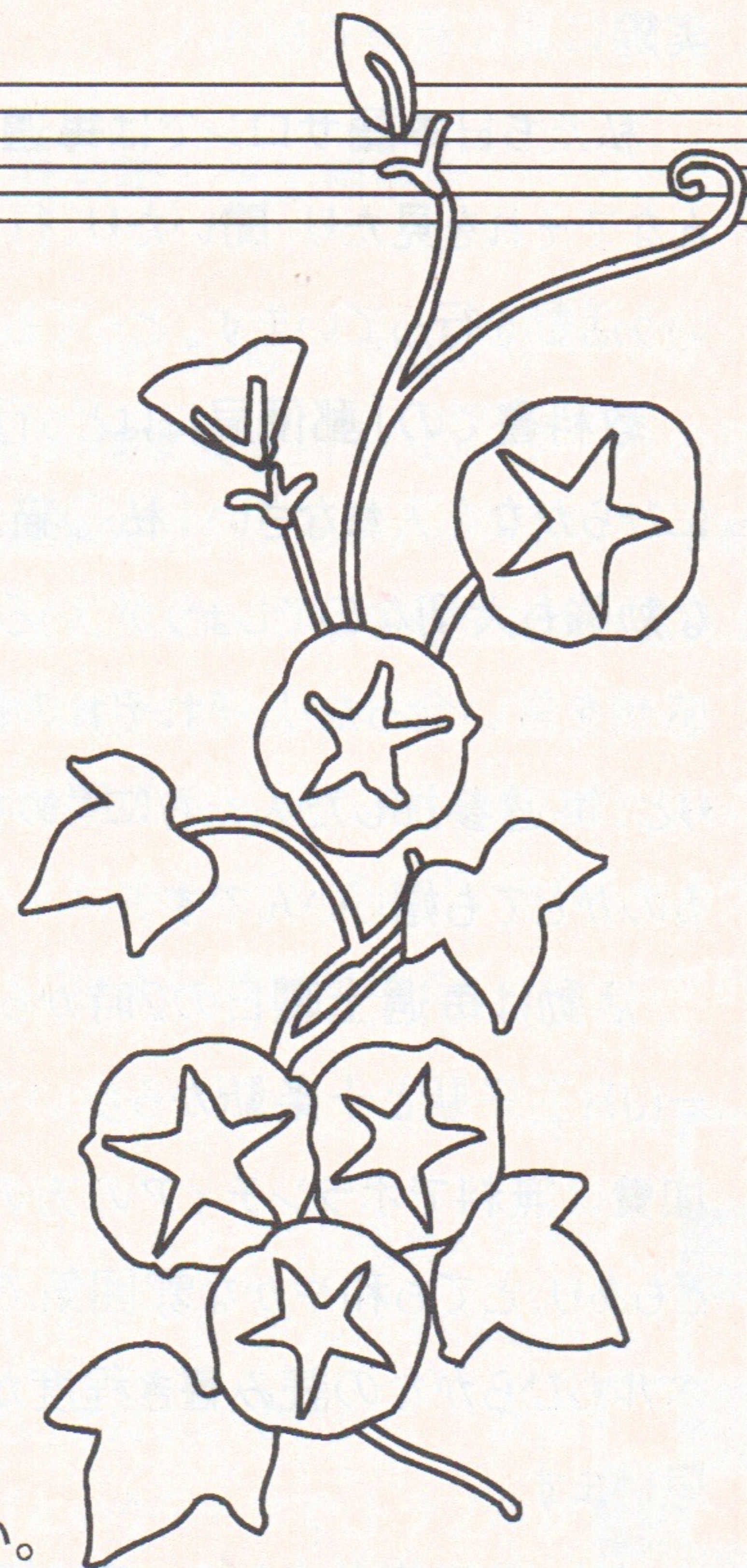
無雙直傳英信居合術 高明塾本部
(午前11時20分～午後8時 アジア・
アフリカ・ラテンアメリカ屋台)

TNVN日本語ボランティア講習会の 講義録が出版されました

'94年に笹川平和財団の助成によって実施されたTNVN日本語ボランティア講習会の講義が、1冊の単行本になって出版されました。この本は『いま!日本語ボランティア「日本語ボランティア講座」(東京編)』というタイトルで、凡人社から発行(A5判208ページ・定価1,500円)。日本語ボランティア講習会の日本語教授法講座と相互理解講座の両方を紙上で再現したものです。あわせて、「

TNVNスタッフの座談会「講座を開くまで」などの記事も掲載されています。

これまで一般の日本語教授法の本はあっても日本語ボランティアのための出版がほとんど見あたらなかったなかで、「ボランティアとしての日本語教室活動」に役立てていただける1冊となるでしょう。笹川平和財団のご厚意によりTNVN会員のみなさまのお手許にはこの本が届けられる予定ですので、楽しみにお待ちく



ださい。

なお、この本は一般の書店でも販売されていますが、お問い合わせ等は凡人社までお寄せください。



● **みんなで“めっちゃ2”**
● **楽しい思い出を作ろうよ!**

● 日本語サロン(北区)
● 代表 高木俊茂

● 「机」「学校」「読む」「聞く」…。これらは「基本的な言葉」
● って言われています。けど、「めっちゃ2」「ちょべりば」「サザエ
● さん」「寅さん」「ジャイアンツ」「SMAP」「安室奈美恵」「東
● 京臨海副都心」…。これらの言葉を使わずに1ヶ月を過ごす
● なんて今の日本では考えられないでしょう。

● 今の流行(もっとかっこいい言葉でいうと文化)ってけっこ
● う簡単に紹介できる。ビデオとかカセットとか使ってもいいし、
● 実際に見に行ってもいい。

● 私たち日本語サロンでは毎週テーマを決めて、参加者み
● んなでそれを見たり、聞いたり、行ってみたり、実践したり…と
● いう活動を行っています。とっても楽しそうですね!

● 教科書での「郵便局にはどう行ったらいいですか」とか「○
● にひらがなを入れなさい」「私○猫が好きです」など、基本的
● な勉強も大切なのでしょうが、いろいろなテーマについて各々
● 感想を言い合ったり、それぞれの国での考え方などを述べたり
● と、毎週参加した人たちに“めっちゃ2”楽しい思い出がで
● けるのがとても嬉しいんです。

● 活動は毎週土曜日の2時から北区中央公園文化センタ
● ー(JR王子駅と十条駅から歩いて10分)で行っています。参
● 加費は無料でボランティアの方の用意するお茶やお菓子な
● どもあり、とても和やかな雰囲気です。勉強のレ
● ベルもひらがなの読み書き程度ができれば、きっと楽しめる
● と思います。

● また、この文化センターでは毎日のようにいろいろな日本
● 語グループが活動を行っているのです。そちらの方にもぜひ参
● 加してください。

● **楽しく学んで**
● **役立つ日本語を**

● 町田日本語の会
● 代表 岸 輝男

● 3年前のスタート時は、まず教室となる会場探しから始め
● なければなりませんでした。その後少しずつ態勢を整え、現
● 在はボランティア35名、学習者50~60名で、小規模ながら
● 安定した活動ができるようになりました。

● ボランティアのなかには数名の現役の日本語教師も加わ
● っています。また、月に一度、専門の講師から教え方の指導
● を受けて実力アップを図っています。

● 学習者は世界各国にまたがっており、週5回開かれてい
● る教室にだいたい2~3人単位にレベル分けされて、希望に
● 沿ったクラスに出席できるようになっています。最近、日本
● 語能力試験の受験希望者もでてくるようになりました。

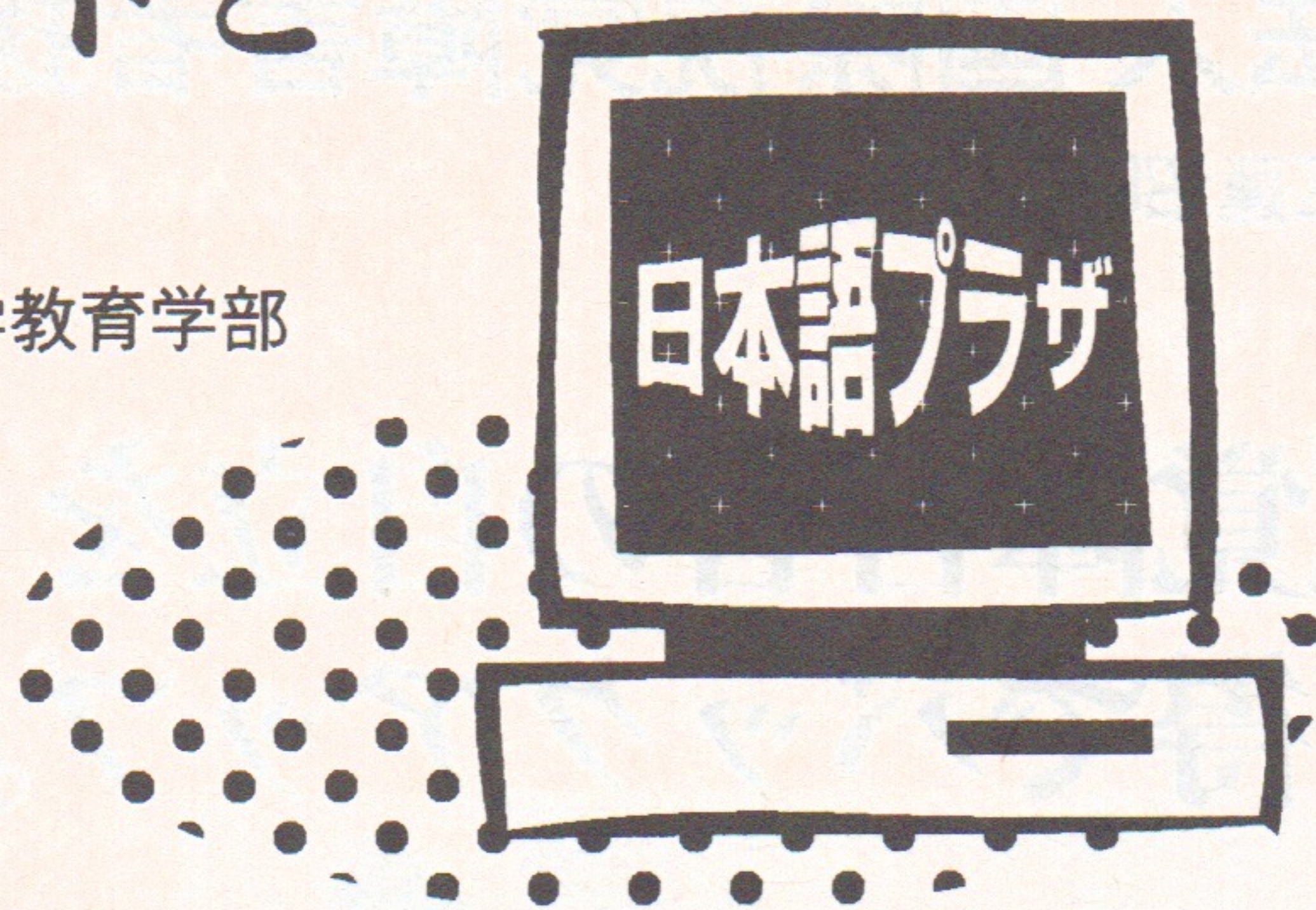
● また、年数回、小さなパーティを開きますが、その時、学習
● 者に自国の得意料理を作ってもらったことがありました。とて
● もおいしく、みんなから「おいしい、おいしい。作り方を教えて」
● と誉められたことがきっかけで、それからはずいぶん打ち解け
● て話すようになりました。ボランティア側はいつも相手から学
● ぶという気持ちで学習者に接することが大事なことだと教え
● られました。

● 楽しく学びながら役に立つ日本語を身につけてほしい、日
● 本に少しでも良い印象を持ってほしいと思いながら、活動し
● ています。地域の小さな活動も集まれば、いずれは大きな国
● 際交流の輪に広がっていくのではないかと期待しながら、こ
● れからも息の長い活動を続けていきたいと思っています。



インターネットと 日本語教育

任都栗 新 横浜国立大学教育学部



情報の可能性を拓く インターネット

現在、日本語教育は、日本国内を見ても、また海外を見ても、多様化してきています。こうした日本語教育の広がりにつれて、大切になってきたのが「情報の交換」です。

情報というと、最近ではパソコンという言葉がすぐ思い出されます。しかし実際には機械や機種が異なるとデータを読み込むことができなかつたりします。そこで、異なる機械や機種間でも情報のやりとりができる「インターネット」の情報が、注目を集めているわけです。

またインターネットでは、直接機械と機械を結んで行います。ですからインターネットにつながったパソコンであれば、世界中の情報を自分のところに持ってきて、見ることも、また再利用することも出来ます。

さらに、ブラウザというソフト(ネットスケープナビゲーターが有名です)と検索ページ(個人の趣味から作られたYahooなどが有名です)を使えば、キーワードを入れるだけで必要な情報に導いてくれます。

こうなると、様々な文字情報がインターネットの中に入ってきます。論文なども、いちいちワープロで打ち出して印刷し、製本したものを郵送するより、インターネットに入れさえすればいいのですから楽ですし、しかも早くて、第一費用がかかりません。インターネットの情報は、どんな

機械・機種を使っている人でも、読めるのですから、非常にオープンです。しかもキーワードでの検索ができます。こんな情報交換の方法が普及しないわけがありません。インターネット先進国のアメリカでは、実に様々な情報がインターネットに入っています。

マルチメディア情報を 日本語教育に活用

最近、インターネットで英語を学びましょう、という企画がありますが、自分の興味や関心を向けられる情報に、情報検索の機能を使って行き着き、それを読む、という方法であれば、大きな教育効果が期待できます。インターネットの場合、様々な種類の最新の情報があるわけですから、学習環境としては申し分ありません。

確かに日本語情報となると、英語情報と比べて見劣りはします。しかし中には結構使えるものもあります。多様化する日本語教育で、こんなすばらしい学習環境を放っておくのはもったいない話です。私たちの先輩が、新聞や雑誌から、学習者の専門に関係あるものや興味を引きそうなものを選んで教材化し、日本語教育を行ったように、多様化した日本語教育に対応するためにも、私たちがインターネットを積極的に利用したいものです。

しかもインターネットは文字情報だけでなく、静止画や音声を利用できます。また多少忍耐力を要しますがビデオ等、動画と音声が入った情報もあります。マ

ルチメディア情報は、疑似体験の点で、特に語学学習に効果があると考えられています。しかも世界中どこにいても、この環境と情報が簡単に手にはいるのですから、その可能性は大きいと言えます。

「日本語プラザ」から 世界に日本語情報を発信

このように非常にオープンなインターネットのマルチメディア情報を、どのように日本語教育で利用していくかは、これからの大きな課題です。

そしてインターネットで重要なことは、情報利用者になれると同時に情報発信者にもなれることです。近くの商店街の写真や、朝食の写真、それを食べる家族のビデオ、またこのニュースレターのような情報、報告、思ったこと、感じたこと、こうした情報を入れることで、日本人、そして日本語が見えてきます。またその情報を利用した教材も充実してきます。

私は今、何人かの仲間と「日本語プラザ」という情報交換の場所をインターネットに作っています。ここには本の紹介や各機関からのニュース、日本紹介の写真や絵などが入っています。ぜひみなさんも日本語プラザで、情報交換に参加してください。

日本語プラザ

<http://www.plaza.hitachisk.co.jp/jpnedu/>

または

<http://ne.ed.ynu.ac.jp/jpnedu/>

※この「日本語プラザ」のホームページにはTNVNのページもあり、活動情報や会員団体の情報も掲載されています。ぜひアクセスしてみてください。

社会福祉法人 国際視覚障害者援護協会 (IAVI)

〒174 東京都板橋区蓮沼町20-18

TEL:03-5392-4002

海外の視覚障害者の自立を 技術の習得でバックアップ。

日本での留学生は言葉の不便、習慣の違いなどのハンディをかかえて生活をしています。その上に、さらにもう一つ視覚の障害を持ちながら日本でがんばっている留学生たちもいます。彼らは、国際視覚障害者援護協会という団体のバックアップのもとで留学し、日本で鍼・灸・マッサージの知識・技術を習得しています。協会の理事長の金 治憲さんご自身も視覚障害者であり、25年前に留学生として日本で生活した体験を生かし、留学生の親代わりとなって援助をすすめています。

国際視覚障害者援護協会は、視覚障害者が社会で自立するための教育を受けられるよう援助し、さらに将来は彼らが指導者となって、自国の障害者福祉の担い手となるよう育成することを目標として活動しています。日本の三療技術(鍼・灸・マッサージ)の修得は視覚障害者が経済的・社会的に自立して生活するのに適した職業であり、盲学校は最適の学習の場といえます。

自分たちの受けた恩を 若い盲留学生への援助に

1971年、金さんを含む4人の盲留学生は、言葉が通じないためにおこるさまざまな誤解や生活の不便などを話し合うための親睦団体「国際盲人クラブ」(ICB)を設立。76年には、後輩の留学を手助けするなどの活動をスタートしました。

81年、国連の国際障害者年とICB10周年を記念し、次の4つの理由から奨学金制度を創立し、翌年からほぼ毎年、各国からの盲留学生を受け入れています。

- ①留学して技術を習得したいが資金に困っている人がいる。
- ②現地には盲人の指導者がほとんどいない。
- ③経験を生かし援助したい。
- ④自分たちの受けた恩を別の人たちに還元したい。

活動24年目となる1995年には社会福祉法人となり、視覚障害者の援助のために幅広い活動を続けています。現在までに、韓国・台湾・ネパール・インドネシア・シンガポール・タイ・中国・ケニア・バングラデシュからの留学生(現在、留学中の留学生を含む)29人を受け入れています。

日本語から三療技術の習得まで、 時間をかけて…

目の不自由な人にとって新しいことに取り組むのは、晴眼者の何倍もの時間と努力がかかるものです。日常での食事の仕方・トイレの使い方ひとつをとっても、自分の家とほんの少し違うだけでも戸惑ってしまうもの。まして文化・習慣が違えば「見よう見まね」ができない分さらにたいへんなことです。留学生自身はもちろんのこと、教える方も辛抱強く指導することが必要です。

日本への留学が決定して実際に留学生が日本に来るまでのプロセスも、一般の場合よりはるかに時間がかかります。まず、各国から送られてくる応募の書類から選考し、次に現地での第1次面接が行われます。希望者の住居まで出向いて、現在の環境・諸条件を調査し、留学する能力・意志などを



Z

O

O

M

I

N

Z

O

O

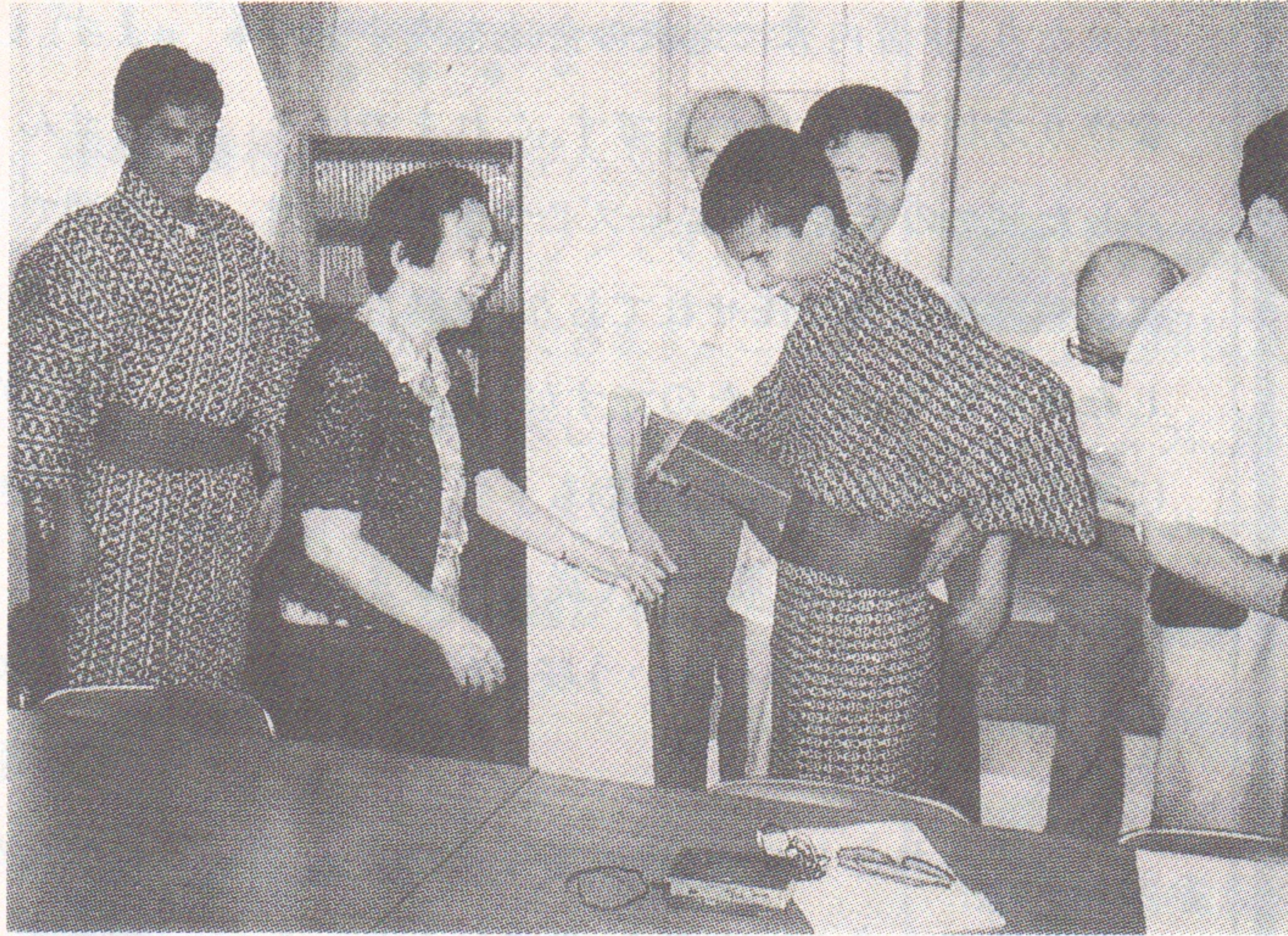
M

I

N

確認。そして、日本での生活に必要な日本語の初歩の手ほどきをします。候補者は約1年間、現地でボランティアの協力によって日本語の学習と、単独での歩行訓練を行います。

その後、第2次面接を経て、最終的な留学生を決定するに至ります。一方、その間に日本では受け入れ校を決定し、入国の準備を整えます。



来日してからは日本での生活に必要な知識・技術の基本的訓練を協会が行い、各地の盲学校へ入学。留学生は3・4年在学して、卒業時には国家試験を受けて免許を取得。さらに、1年間程度、日本で実務を研修して帰国となります。1人の留学生の支援に最低4・5年はかかるのですから、選考の際は慎重にならざるをえません。

将来は現地の指導者として 活躍できる人材を育成

現地での2回にわたる面接・来日する際の出迎え、そのたびに日本から行く面接者の渡航費だけでも相当の経費がかかります。郵貯のボランティア貯金の配分金などの援助はありますが、それだけでは不十分です。より多くの人たちからの協会の活動への理解と、会員として支援を求めています。

月1回会員に配布される会報誌には、留学生が点字で書いた日本語のメッセージが掲載されています。原文のままのまだ未完成な日本語ですが、心からの感謝の言葉と、一所懸命さがうかがわれる文章です。半年後・1年後と少しずつ上達していく文章が、彼らのありのままの近況を伝え、会員とのコミュニケーションに一役買っているようです。

協会での作業のなかには、会報の印刷・発送

などの事務的な手伝いから、新学期前の日本語の指導・週末の食事の世話、入国・出国の際の空港までの送迎、家庭への招待など、手伝いを必要とすることはたくさんあります。「何か手伝えそう」という方はぜひ協会まで電話でお問い合わせくださいということでした。

「福祉・教育の行き届いていない国での障害者に対して、ただ金銭での援助だけをしてはその場にしのぎにしかありません。人に頼ることを教えては、自立の一步は踏み出せませんから。まず自分で汗をかいて手にしたお金の大切さを知ってもらいたい。そして、さらにそれを発展させ、後進の指導にあたることができるように育てほしい。将来、彼らが現地で三療の技術指導ができるようになって、わざわざ日本まで留学に来る必要がなくなれば、それが最高」と金さんは将来の夢を語ってくださいました。

※国際視覚障害者援護協会では、維持会員として活動を支援してくれる方を募集しています。

会費(寄付金) 個人/年1口 2,000円

法人/年1口 10,000円

詳細については協会までお問い合わせください。

(写真提供/社会福祉法人 国際視覚障害者援護協会)

第4回

教科書の功罪

正しい日本語とは何か

日本大学講師

福田

知行

今回は日本語の教科書に対する不満を書きましたが、これは仕方がないといえば仕方がないことだと思われま。教科書というものは『間違いがあってはならない』という宿命を背負っていますし、頁数や価格の問題が必ず付きまといま。から、どうしても一般的な内容になりやすく、個々の学習者のニーズに合わせたり、学習内容に選択の余地を残すような作り方はできないから。です。これまではそうした個々の学習者のニーズや学習内容の選択は教師の裁量に任せられており、教師もそうした要望に応じてきたのですが、現在のように学習者も教師(学習支援者)も多種多様になりつつある時代に、果たして従来のままの教科書であっていいのかという疑問が生じてきます。

一つの流れとしては、地域で生活する上で必要な情報を盛り込んだり、従来はなかった主婦や労働者向けの教科書作りなどが各地でボランティア中心に行われているよう。です。ただ、そうした教科書も『権威』として使われ

ることになるのだろうという『予感』に耐えきれず、『役立つ日本語』の教科書になりきれないところがあります。たとえば、義務表現の「…しなければいけません」はほとんどの初級の教科書に出てきますが、「…しなきゃね」とか「…しなくちゃだめなんです」などの会話体は出てきません(中級の教科書には出てくるものもあります)。しかし、普通の会話で「…しなければいけません」を使う機会が一体どのくらいあるのか疑問。です。また、今でこそ「～です」の否定形を「～じゃありません」とする教科書は普通になってきましたが、以前の教科書は「～ではありません」しか載せていませんでした。「～じゃありません」は『正しい日本語』ではなかったのです。こうしたことの積み重ねの結果、多くの日本語学習者が「普通の会話では教科書で習った日本語が役に立たない」という不満を持つのだろうと思われま。す。もう一度原点に戻って『規範』と『実用』の関係を考えてみたいものです。



K D D が 提 供 す る

楽しいイベントがいっぱいの 001サンクスデーへどうぞ!!

KDD 国際電信電話では、日頃の001のご愛顧に感謝の心をこめて、毎月1回『001サンクスデー』を開催しています。国際電話のフリーコールやインターネット体験など、楽しい催し物が満載ですので、どうぞお気軽にご参加ください。

- 001-ICグローバルカードでの国際電話無料体験コーナー
- 話題のインターネットにアクセスインターネットエキスポ体験コーナー

●会場でアンケートに答えていただいた方には記念品をプレゼント!

- ◆日時/毎月第一営業日に開催
8月1日(木) 午前10時～午後1時
9月2日(月) 午前10時～午後1時
10月1日(火) 午前10時～午後1時
- ◆会場/KDD大手町ビル1階
正面玄関(KDD大手町営業所前)
(千代田区大手町1-8-1)
地下鉄大手町駅 C1出口下車

KDD 大手町ビル1階 正面玄関

大手町駅 ◆

三井生命 ●

●入国管理局

●日本開発銀行

●公庫ビル

●読売新聞社

●新公庫ビル

◆問い合わせ/
KDDコンシューマ営業部
TEL:03-3275-4138

外国人のための 生活ケア講座 No.3 アルバイト事情①

日本に来る外国人は、留学生・ビジネスマン・主婦といったように、その立場もさまざまです。なかには、「親から援助してもらっているけど、遊ぶお金ぐらいは自分で」という人もいれば、学費や生活費の不足分を補うためにアルバイトをしなければという人も少なくないようです。

しかし、働いていけばトラブルはつきもの。気軽に始めるのはいいけれど、後で「しまった!」と思わないためにも、今回は外国人のアルバイト事情について調べてみました。

アルバイトの許可申請

働きたいと思っても「留学」「就学」の在留資格では、原則的に働くことが禁止されています。かといって、全く働けないということではありません。

アルバイトをする場合、事前に入国管理局で「資格外活動許可」の申請をしておかなければなりません。1度許可を受けさえすれば、アルバイト先が変わっても有効です。

また、在留期間更新許可を申請するときに、同時に「資格外活動許可」の更新もできます。

申請に必要な書類は

- ◆資格外活動許可申請書(入管窓口にある)
- ◆旅券(提示のみ)
- ◆外国人登録証明書(提示のみ)

*手続は無料。

アルバイトの時間

「資格外活動許可」をとったからといっても、好きなだけアルバイトをできるわけではありません。「留学」「就学」の在留資格を持つ人がアルバイトをする場合は、次の時間内で認められています。

- ◆大学学部、大学院正規生…1日4時間以内
7-8月(夏休み)は1日8時間以内
- ◆研究生、聴講生……………1日2時間以内
7-8月(夏休み)は1日8時間以内

- ◆専門学校生、就学生……………1日4時間以内

※在留期間更新許可を申請するときに、同時に「資格外活動許可」の更新が可能。

アルバイトの業種

バー・キャバレーなど客席に同席してサービスする業種、性風俗に関する業種、客の射倖心をあおるような業種(パ

チンコ店・マージャン店など)で働くことは厳しく禁止されています。また、これらの店ではたとえ皿洗いや掃除などであっても働くことは禁止されています。

アルバイトの探し方

通常は店頭で求人広告が貼り出してあったりしますが、こちらのアルバイトできる時間が限られていたりすると、なかなか難しい場合もあります。

そんなときに役立つのがこちら。学生におススメなのが財団法人 内外学生センターです。ここでは、日本人も含め、大学以上に在籍する学生に宿舎・アルバイトの紹介をしています。ただし、「留学」の在留資格を持ち、大学・高等専門学校に在学している外国人学生のみを対象にしています。

紹介希望者は下記の書類を持参して、センターへ。

- ◆学生証
- ◆外国人登録証明書
- ◆写真(縦4cm×横3cm)2枚
- ◆資格外活動許可証明書

*手続は無料。

〒161 新宿区上落合1-17-1

(財)内外学生センター 東京第一学生相談所

Tel: 03(3591)9103

対応言語:日本語、英語(月~金)9:00~17:00

また、学生以外の方には公共職業安定所(ハローワーク)の紹介がおススメ。都内各所の職業安定所にもアルバイト・パート紹介のコーナーがあります。外国人への対応はまだ充分とは言えませんが、該当するものがあれば紹介してもらえます。

また、アルバイト情報誌や新聞の求人欄もあります。ただし、これらの情報は主として日本人を対象としているので、断られるケースも多いかもしれません。くじけずに電話をかけてみるのが肝心です。

こうしてみると手続がたいへんそうにも思われますが、後でトラブルに巻き込まれないためにも、アルバイトを始める前にきちんとしておくにこしたことはないでしょう。次回は「アルバイトを始めてから」というテーマで、トラブルが発生した場合の対応について考えてみることにします。

NETWORK INFORMATION

日本語ボランティア 入門講習会、開催中

『日本語ボランティア入門講習会』は第3期を開催中です。8月は「日本語を教える上での問題点」、9月は「ボランティア日本語教室の開設・運営」をテーマに、午後と夜間それぞれ1回ずつ開催します。あわせて日本語ボランティアに関する相談もお受けしていますので、お気軽にご参加ください。

◆日時

8月6日(火) 入門講座:午後2～4時
相談窓口:午後4～5時

8月20日(火) 入門講座:午後6～8時
相談窓口:午後8～9時

9月10日(火) 入門講座:午後2～4時
相談窓口:午後4～5時

9月24日(火) 入門講座:午後6～8時
相談窓口:午後8～9時

◆場所/東京都生涯学習情報センター
(JR/地下鉄 有楽町駅下車 徒歩3分)

◆参加費/入門講座:600円
相談窓口:無料

◆全6回参加された方には修了証をさしあげています。(どの回からでも参加できます)

「NHKボランティアネット」 への情報掲載は こちらまで

TNVNが活動情報を掲載しているパソコン通信ネットワーク『NHKボランティアネット』では、パソコン通信で全国のボランティア団体のイベント情報・募集情報をとりだせ、通常の電話料金だけ(情報料は無料)でアクセスできます。

●アクセス方法

アクセス電話番号 03-3375-1072

- 1 上記の電話番号にアクセスし、接続されたらID番号を聞いてくるので、半角で『NVN20000』と入力する。
- 2 パスワードは不要なので、returnキー(または改行キー)を押す。

●インターネットのホームページアドレス

<http://www.nhk.or.jp/nhkvnet>

TNVN会員団体で、ボランティア募集・イベント参加者募集などの情報の掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。

★担当:前田恭子

TEL/FAX;03-3412-6711

E-MAIL;QYF06475@niftyserve.or.jp

2つの「研究会」の 参加者を募集中

TNVNでは、対象を特定した日本語ボランティアのための研究会をスタートします。これらの研究会の活動に関心のある方は、直接それぞれの担当者までご連絡ください。

★高校留学生のための

日本語学習支援研究会

担当;大野京子

TEL/FAX;03-3959-1996

★視覚障害者のための

日本語学習支援研究会

担当;中田紀子

TEL/FAX;0423-72-2236

TNVN事務局の連絡先

TNVNへのお問い合わせ・お申し込み等は、下記までなるべく郵便またはFAXでお願いいたします。

〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティアセンター気付

東京日本語ボランティア・ネットワーク

TEL:03-3235-1171(呼出し/月曜のみ)

FAX:03-3235-0050

『TNVN日本語ボランティア 育成講習会』が 開講されます

TNVNでは昨年に引き続き、今年も日本財団の助成を受けて『日本語ボランティア育成講習会』を開講することになりました。これまでと同様に日本語ボランティアの経験者を対象として、「日本語教授法講座」と「相互理解講座」から構成されるものです。

今回は飯田橋の東京ボランティアセンターを会場に、10月4日(金)から主として金曜日の午後に1回4時間・全10回のコースで開催の予定です。TNVN会員のみならずには詳細が決定次第、あらためてご案内しますが、関心のある方はぜひご参加ください。

第三回『ネットワークの会』を 開催します

日本語ボランティアやTNVNの活動に関するさまざまな話題を自由に話し合い、情報交換をするための『ネットワークの会』。第二回は7月25日(木)に、9月に予定されている市民フェスティバル「東京Ours'96」のイベントをテーマに話し合いをしました。

次回の『ネットワークの会』は、9月26日(木)午後6時から東京ボランティアセンター録音室で開催されます。どなたでも自由に参加していただけますので、お気軽に参加して人や情報のネットワークを拡大してください。



日本語能力試験・日本語教育能力検定試験の受験案内

日本語能力試験および私費外国人留学生統一試験、日本語教育能力検定試験の実施概要が決定されました。日本語能力試験の受験をめざす学習者や、日本語教育能力検定試験をめざす方にご案内ください。

日本語能力試験および私費留学生統一試験

◆試験日:'96年12月8日(日)

◆出願受付:'96年8月12日～9月18日

(当日消印有効)

◆受験案内(出願書類付)

販売開始日:8月12日(月)

日本語教育能力検定試験

◆試験日:'97年1月26日(日)

◆出願受付

'96年10月14日～11月1日(当日消印有効)

◆受験案内(出願書類付)販売開始日

9月25日(月)

※受験案内(出願書類付)は全国の有名書店で販売されます。

★問い合わせ

日本国際教育協会 日本語・統一試験課

TEL/03-5454-5215

EMPC『多言語・異文化教室』受講者募集

在日外国人のための生活情報誌のネットワークであるEMPC(Ethnic Media Press Center)では、新たに『多言語・異文化教室』を開設します。クロスカルチャーをテーマとして、会話の学習をしながら日本と各国の文化や生活習慣の違いも学べる、楽しく実践的な教室です。

各クラスは1週間1回100分で、そのうち70分が授業(外国語の授業50分&その国の文化・生活の授業20分)、残りの30分は日本について学んでいるその国の人たちとの交流の時間となっています。

◆募集内容

月曜日/中国DAY

火曜日/韓国DAY

水曜日/フィリピンDAY

木曜日/ブラジルDAY

金曜日/タイDAY

◆問い合わせ

EMPC TOKYO エスニックセンター

「多言語・異文化教室事務局」

〒112 東京都新宿区西新宿4-15-7

後楽園新宿ビル5F

TEL/03-3376-0555

ボランティア日本語教室メンバー募集

<TUDO BEM 日本語教室>

◆会場:文京区本駒込

(JR駒込駅下車3分)

◆日時:毎週水曜日午後0時～2時

毎週金曜日午前9時～11時

毎週日曜日午後0時～2時

◆問い合わせ:林川玲子

TEL:FAX/03-3473-5088

港区で日本語ボランティア講習会を開催

港区では、TNVNが企画に参加して日本語ボランティア講習会が開講されます。

港区在住・在勤者は受講できますので、関心のある方は下記までお問い合わせください。

◆日時:9月5日(木)～10月29日(火)までの全11回

◆会場:港区立女性センター(JR田町駅前)

◆受講費:無料

◆保育あり

◆申し込み締切:8月17日(土)

◆問い合わせ:港区立女性センター

TEL/03-3456-4149

東京法務局「人権相談室」のご案内

東京法務局人権擁護部では人権相談室を開設して、外国人の人権問題や生活問題等に対応しています。相談は電話でも、訪問でも可能です。下記の時間帯には通訳が待機しているので、外国語での相談ができます。

◆連絡先:TEL/03-3214-6231(代)

東京法務局人権擁護部人権相談室

◆対応言語・時間

◎中国語(月曜日)

午後1時30分～3時30分

◎英語(火・木曜日)

午後1時30分～3時30分

◎ドイツ語(火・木曜日)

午後1時30分～3時30分

※日本語での相談は月曜から金曜までの午前10時～午後4時まで対応しています。



TNVN事務局スタッフを募集!

TNVNの事務局活動は、毎週月曜日(午前10時～午後4時)に東京ボランティアセンターで行っています。事務局での活動にご協力いただけるボランティアの方を募集しています。とくに、原則として毎月第1月曜日は郵便物の発送作業があるため、これをお手伝いいただける方はご連絡をお願いします。

また、在宅でパソコン入力をお願いできる方(できればMAC使用)も、ご連絡をお待ちしています。

◆問い合わせ:林川玲子

TEL:FAX/03-3473-5088

BULLETIN BOARD

Special Thanks to

◆国際視覚障害者援護協会様
快く取材に応じていただきました。

◆KDD 国際電信電話(株)様
サポートプログラムによる支援金、ニュースレターの印刷にご協力いただきました。

ありがとうございました

メディアに見る TNVN情報

●イカロス出版刊

『日本語教師になるための本'97』
TNVNの活動と日本語ボランティアの紹介

●国民生活センター刊

『たしかな目』'96年8月号
TNVNの活動と日本語ボランティアの紹介

●日本放送出版協会刊

『NHK社会福祉セミナー』
'96年8～11月号
NHKボランティアネットへのTNVNの訪問を紹介

新入会員のご紹介

Welcome!

★正会員(団体)

TUDO BEM 日本語 教室(文京区)

★協力会員(個人)

マイネケ雅子、高野 はるみ、大橋敦夫
(敬称略)

'96年7月20日現在の会員数は、正会員
80団体、協力会員127名、賛助会員9です。

事務局DIARY

先日、学習者からビザの申請に添付する文書作成を依頼された。母親の入国に関するものであると思うと、責任を感じてしまい緊張した。

私の教室は留学生妻や日本人の妻が多く、法的に問題になるようなことはあまりない。私もこのような相談を受けたことははじめてであった。いつかはこういうこともあるだろうと気にはなっていたが、私には断片的な知識しかなく、複雑な相談をされたら、とても力にはなれそうもない。これを機に、私はいくつかの相談窓口をリストアップしておいた。

TNVNで実施している講習会では、日本語教授法とともに相互理解講座も同時に開講され、日本事情・異文化・法律問題等を専門の講師が教えてくださっている。けれども、教授法と比較すると受講者の関心はいまひとつのようである。

しかし、学習者が日本語ボランティアに求めているのは、日本語を学ぶことだけではない。日本の文化・日常生活のノウハウ・情

報などを求めて教室にやってくる。だとすると、私たちはいろいろなことを身につけていく必要がある。日本語教授法も大切であるが、日本語を教えるだけが日本語ボランティアではないと思う。

TNVNは情報の交換や交流、資質の向上を目的としている。ネットワークの仲間には、入管や労働問題に強いグループ、異文化理解を主眼としたグループ等さまざまである。せっかく参加しているネットワークなのだから、もちつもたれつ向上していきたいものである

甲斐 武子
(TNVN 会計)

編集後記

●ながーい夏休み、あつーい毎日、どうやってこれから1ヶ月半過ごそうかと……。3年坊主につきあうには体力も限界です。涼しい図書館巡りなんていいかも……。でも、行くのも暑そう。
Sumit O.

●ボランティアセンターもたくさんの若者でにぎわって『夏休み体験ボランティア』も夏休み恒例のイベントとして定着。楽しい夏が過ごせますように。さあ、私も少しは夏休みをとれるかな……。
KYOKO

●国際交流は、「これだ!」ってビジョンがないから、同じことを目指していてもみんなバラバラのことをしてしまうんだな～。

パーラナー

発行人/中田紀子 編集人/前田恭子
レイアウト/鶴田環恵

T N V N と は

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク(連絡協議会)として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993年12月に結成

されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由している外国人などを隣人として支援しています。

